



# 涌小通信

知内町立涌元小学校  
～重点教育目標～  
主体的・対話的に学び、  
自らを磨き、高め合う子  
令和元年6月28日発行

## 『努力に勝る天才無し』

～子どもたちの成長，可能性を感じた運動会～

校長 三上 幸喜

『ゴールまであきらめない！』～転んでも立ち上がれ～ をテーマに取り組んだ今年の運動会も、多くのご来賓の皆様や保護者，家族，地域の皆様を多数お迎えして無事終了することが出来ました。

また，保護者テントからは，子どもたちの一生懸命頑張る姿や最後まであきらめない姿に温かい励ましの声援を送って頂きました。みんなが笑顔になった，そんな楽しく，熱い運動会だったと思います。誠にありがとうございました。

### 【鼓笛パレードでの運動会 当日までの道のり】

#### 4月<音楽の学習>

- ・楽譜の読みの指導
- ・演奏の技術指導
- ・担当楽器決定
- ・子ども同士の教え合い

#### 5月<運動会特別時間割開始>

- ・パート練習
- ・通し練習
- ・グラウンドでの行進練習
- ・演奏の練習，隊形移動練習
- ・総練習

#### 6月<運動会>

- ・鼓笛パレード披露

今年の運動会も，子どもは素晴らしい！と感じ，子どもの成長と可能性を実感することが出来ました。

左の図のように運動会の3週間前から特別時間割が開始となりました。特別時間割は，学校全体で団体種目や縦割り班競技，紅白リレー，ソーラン節，鼓笛の行進練習等に取り組む時間割となります。ですから，鼓笛演奏での個人の練習は別なところで取り組まなければなりません。

実は，担任の先生方は4月の段階から構想を練り，間接的な練習から取組を始め，次第に直接的な練習へと進めていきます。最初は上手く演奏できなかつた子どもも次第に上達し，正しく演奏ができるようになり，行進しながら演奏ができるようになっていきます。日に日に上達していきます。練習においては，子どもの自主性を伸ばすために子ども同士の教え合いの時間を設定したり，子どもの希望や意見を取り入れる場面を設定するなどして，自分で（自分たちで）主体的に取り組むことが出来るような取組も実施しています。

子どもたちに，運動会の取組を振り返らせ，努力の大切さや努力の積み重ねの大切さに今一度気づかせたいと思います。

運動会だけでなく，勉強も生活も一日一日の努力を大切にしていって欲しいと願っています。

昔々，巨人軍の川上 哲治 氏は「打撃の神様」と言われました。打撃の神様とまで言われるほどの大打者でした。その川上氏の残した言葉に「これほどの努力を人は**“運”**と呼ぶ」というものがありました。大変印象深く，私の心に残りました。

「打撃の神様」とまで呼ばれた川上氏も，その素質や才能を開花させるために，人並み以上の努力を積み重ねてきたことを知りました。川上氏だけではなく，イチロー選手や大谷翔平選手も同様であると思います。それはスポーツの世界だけではなく，文化活動や音楽活動においても同じではないかと思えます。

涌元小の子どもたちに運動会での取組を通して，努力の大切さに気づかせ，「**努力に勝る天才なし**」と伝えるとともに，涌元小の児童一人一人が「**努力の天才**」になって欲しいと切に願っています。